

パブリックコメント等におけるご意見とその対応

1 パブリックコメント（平成 25 年 1 月 29 日～2 月 12 日）での意見

項目	意見の概要	対応
鉄道について	JR琵琶湖線の増発について <ul style="list-style-type: none"> 野洲京都間終日時間 8 本運転 終電延長 	JR琵琶湖線の輸送力増強については、近隣市町と共同で毎年JRに要望をしているところであり、本構想でも第4章においてその必要性を述べています。 JRでは、現在のところ当該路線の輸送力は足りているとの判断ですが、今後も必要に応じて要望をしていきます。
	野洲駅拡張について提案 <ul style="list-style-type: none"> 狙いは琵琶湖線全体の利便性の向上 国土交通省の「都市鉄道利便増進事業費補助」による改良 	現時点ではJR野洲駅舎の抜本的改修は計画されていませんが、今後野洲駅前周辺整備の状況や利用者の利便性などを考慮しながら、将来的な課題として検討していきます。
	仮称祇王新駅の設置について <ul style="list-style-type: none"> 単に駅を作るだけだと野洲駅と篠原駅の利用者の転移だけで野洲市内全体の底上げにはならない。 京都方面からの通勤客が新駅利用になると野洲駅が利用減となり、駅前飲食業等に影響がでるのではないかと心配である。 竜王町や近江八幡市東部からの篠原駅利用者の新駅転移は篠原駅の強いダメージになる。 将来の新駅設置は市の基盤整備上の必要性は理解できるが、まずは野洲駅を整備し、利用増、野洲市の玄関口としての確固たる姿にした上で、その後祇王新駅の設置を検討すべきである。 	JR琵琶湖線の野洲駅と篠原駅間の新駅設置については、既設駅の混雑解消と併せて、将来的には地域の発展や便宜の向上につながっていくように、都市基盤整備やまちづくりと一体的に進めていくべきと考えており、今後その可能性を含めて検討を進める予定をしています。
	今の新幹線新駅について <ul style="list-style-type: none"> 30 年先の今の新幹線が在来線化する時点では、小篠原地先に新幹線新駅を検討してもよいのではないか。 	地理的な要因や客観的な条件等を考え合わせるとご提案のとおりだと思いますが、県内での新駅設置に係るこれまでの経過等を踏まえると、慎重な判断が必要ではないかと考えます。 なお、将来的な滋賀県の発展のためにも、今後の経過については注視していきたいと考えています。

2 市民懇談会（平成 25 年 1 月 25 日・26 日）での意見

- パブリックコメントと同じ趣旨の意見でした。

3 まちづくり井戸端座談会（平成 25 年 2 月 8 日）での意見

- 特に意見はありませんでした。

※「野洲市交通ネットワーク構想（案）」の対応

以上のことから、野洲市交通ネットワーク構想（案）の修正の必要はないものと判断いたします。